



## 2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社インターファクトリー 上場取引所 東  
コード番号 4057 URL http://www.interfactory.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 蕪木 登  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO コーポレートディベロップメント部長 (氏名) 赤荻 隆 TEL 03-5211-0086  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第2四半期の業績 (2023年6月1日～2023年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	1,213	△4.2	△109	—	△110	—	△111	—
2023年5月期第2四半期	1,266	19.7	52	—	51	—	34	—

	1株当たり 四半期純利益又は純損失	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	△27.04	—
2023年5月期第2四半期	8.71	8.64

(注) 2024年5月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	1,678	1,002	59.8
2023年5月期	1,704	1,118	65.4

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 1,002百万円 2023年5月期 1,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年5月期の業績予想 (2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,883	15.9	69	30.1	66	41.2	45	107.1	11.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	4,124,400株	2023年5月期	4,124,400株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	一株	2023年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	4,124,400株	2023年5月期2Q	4,006,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が継続することが期待されています。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスクがあります。また為替の著しい変動は経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、金融資本市場の変動には引き続き十分注意する必要があります。

当社が関わる国内電子商取引市場は、経済産業省が2023年8月に公表した「令和4年度電子商取引に関する市場調査」によるとB to B、B to C共にEC化率と市場規模が増加傾向にあり、商取引の電子化が継続して発展しています。一方で、業界におけるエンジニアの数が不足しており、当社におきましてもエンジニアの確保が重要な経営課題となっております。また、各ECサービスにおいては、一層の機能の充実や利便性の拡充、セキュリティ面での安全性強化が求められております。

当社は、クラウドコマースプラットフォーム事業という単一の事業で成長してまいりましたが、EC関連サービスが多様化かつ複雑化する近況を鑑み、2024年5月期からはサービス領域を拡大し「ECビジネス成長支援事業」及び「データの統合及び活用を目的とした事業」を新たに展開し、EC事業者の幅広いニーズに応えていくために、収益手段の多様化を図っております。伴って、新たに開始する事業への投資も積極的に行っております。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### <クラウドコマースプラットフォーム事業>

従来より注力してまいりました「クラウドコマースプラットフォーム事業」においては、既存顧客の満足度向上及び新規顧客の開拓を図るため、組織改編等により営業部門を強化することでシステム受託開発売上の新規獲得並びに運用保守売上の積み上げに努めてまいりました。また、「ebisumart」をより信頼性の高いECプラットフォームとするため、情報セキュリティマネジメントシステムISO/IEC27001の認証取得やクレジットカード業界における国際セキュリティ基準であるPCI-DSSへの準拠証明もの取得も継続して行っておりまいりました。さらに、EC市場拡大と弊社既存顧客の成長を見越し、EC流通総額が更に大きい大規模顧客層をターゲットにした、ハイスペックの新たなクラウドコマースプラットフォーム「ebisu commerce」のサービス提供を2023年8月より開始し、これにより小規模事業者から大規模事業者まで幅広い顧客層をカバーすることが可能となっております。

このような状況の中、システム運用保守売上については、既存店舗の流通総額及びPV数が引き続き堅調に推移し、当初計画通りに推移した一方で、システム受託開発売上ににつきましては、直近において受注状況は改善しているものの、売上への寄与は下半期となる見込みであり、当四半期の売上高は当初計画を下回って推移しました。この結果、クラウドコマースプラットフォーム事業の売上高は1,165,554千円（前年同四半期比7.9%減）、セグメント利益は171,164千円（前年同四半期比42.9%減）となりました。

#### <ECビジネス成長支援事業>

2024年5月期より本格的に開始しました「ECビジネス成長支援事業」においては、ECモール及び全ての自社ECサイトを運営する事業者様を対象とした、EC事業の成長を戦略立案から実務まで一貫通貫で支援するサービス「ebisu growth」をパートナー企業と連携して展開し、収益手段の多様化とともに新たな顧客層へのアプローチを図ってまいりました。一方で、リード獲得のためのマーケティング費用及び広告宣伝費、営業活動費用が発生した結果、ECビジネス成長支援事業の売上高は47,526千円、セグメント損失は19,485千円となりました。

<データの統合及び活用を目的とした事業> データの統合及び活用を目的とした事業においては、EC事業者の基幹システムと各販売チャネル、タッチポイントを繋ぎ、リアルとECデータの統合及び活用を可能とするためのプラットフォームの開発及びサービスの構築を進めております。サービス構築中であるため、売上は発生しておらず、サービスの構築費用のみ発生している状況であり、セグメント損失は13,848千円となりました。

なお、各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は247,004千円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,213,081千円（前年同四半期比4.2%減）、営業損失は109,173千円（前年同四半期は営業利益52,431千円）、経常損失は110,685千円（前年同四半期は経常利益51,618千円）、四半期純損失は111,520千円（前年同四半期は四半期純利益34,897千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ26,462千円減少し、1,678,328千円となりました。主な要因は、現金及び預金が37,382千円減少したこと、自社利用ソフトウェアの償却等により無形固定資産が17,469千円減少したこと及び仕掛品が27,883千円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ89,352千円増加し、675,336千円となりました。主

な要因は、買掛金が18,399千円増加したこと、運転資金の借り入れにより短期借入金が100,000千円増加したこと、人材派遣料の減少により未払費用が13,295千円減少したこと及び未払法人税等が12,166千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ115,814千円減少し、1,002,992千円となりました。主な要因は、四半期純損失を111,520千円計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は59.8%（前事業年度末は65.4%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べ37,382千円減少し、264,550千円となりました。当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは63,728千円の支出（前第2四半期累計期間は44,986千円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純損失を110,685千円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは69,360千円の支出（前第2四半期累計期間は194,680千円の支出）となりました。これは主にサービス充実を目的とした無形固定資産（自社利用ソフトウェア）の取得による支出67,583千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは95,706千円の収入（前第2四半期累計期間は100,000千円の収入）となりました。これは主に短期借入金の増加額100,000千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2023年7月13日にいたしました通期の予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	301,933	264,550
電子記録債権	13,472	6,194
受取手形、売掛金及び契約資産	455,443	469,112
仕掛品	14,581	42,464
その他	93,045	90,463
流動資産合計	878,475	872,786
固定資産		
有形固定資産	26,025	23,292
無形固定資産		
ソフトウェア	679,091	665,459
ソフトウェア仮勘定	40,280	36,443
無形固定資産合計	719,372	701,902
投資その他の資産		
投資有価証券	857	857
敷金	77,026	77,026
その他	5,872	5,302
貸倒引当金	△2,839	△2,839
投資その他の資産合計	80,916	80,346
固定資産合計	826,315	805,542
資産合計	1,704,790	1,678,328
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,223	53,623
短期借入金	250,000	350,000
未払法人税等	19,589	7,423
未払費用	141,598	128,303
その他	124,705	121,119
流動負債合計	571,117	660,469
固定負債		
資産除去債務	14,866	14,866
固定負債合計	14,866	14,866
負債合計	585,983	675,336
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	435,600	435,600
資本剰余金	319,200	319,200
利益剰余金	359,712	248,192
株主資本合計	1,114,512	1,002,992
新株予約権	4,293	—
純資産合計	1,118,806	1,002,992
負債純資産合計	1,704,790	1,678,328

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,266,185	1,213,081
売上原価	775,195	824,026
売上総利益	490,989	389,054
販売費及び一般管理費	438,558	498,227
営業利益又は営業損失(△)	52,431	△109,173
営業外収益		
受取保険金	428	—
その他	119	280
営業外収益合計	548	280
営業外費用		
支払利息	1,307	1,732
その他	54	59
営業外費用合計	1,361	1,792
経常利益又は経常損失(△)	51,618	△110,685
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	51,618	△110,685
法人税、住民税及び事業税	16,591	265
法人税等調整額	130	570
法人税等合計	16,721	835
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,897	△111,520

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	51,618	△110,685
減価償却費	39,036	89,821
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	1,307	1,732
売上債権の増減額 (△は増加)	△78,098	△6,392
棚卸資産の増減額 (△は増加)	351	△27,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,039	18,399
未払金の増減額 (△は減少)	1,800	△526
未払費用の増減額 (△は減少)	△848	△13,289
前受金の増減額 (△は減少)	△18,169	△11,743
その他	5,761	8,899
小計	23,797	△51,668
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△1,438	△1,870
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	22,625	△10,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,986	△63,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,064	△1,776
無形固定資産の取得による支出	△184,615	△67,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,680	△69,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	100,000
その他	—	△4,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,000	95,706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△49,694	△37,382
現金及び現金同等物の期首残高	376,041	301,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	326,347	264,550

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。